

令和6年1月15日
農林水産部

報道関係者各位

山形県内の乳用子牛がゲノミック評価で日本一に！

山形県農業総合研究センター畜産研究所では、県内酪農家の乳用牛の生産性向上を図るため、優良な受精卵を作製・配付しております。

この受精卵から生まれた子牛が、米国ホルスタイン協会が昨年12月に公表した乳用牛の遺伝的能力を総合的に評価するゲノミック評価において、国内の牛151,330頭の中、日本一となりましたので、お知らせします。なお、日本一は本県初となります。

1 乳用牛のゲノミック評価（GTPI）※

- ・公表年月：令和5年12月
※公表は年3回（4月、8月、12月）
- ・評価頭数：151,330頭
- ・評価機関：米国ホルスタイン協会



2 乳用子牛の概要

- ・子牛の名前：ダイドー ザズル キヤプテン 2049 ET
- ・血統：父 ジェノソース キヤプテン ET
母 YLES ザズル M ホープ ET（畜産研究所導入受精卵産子）
- ・生年月日：令和5年3月10日
- ・生産者：樋口一彦氏（白鷹町 みやまミルクえん）

※ゲノミック評価総合指数（GTPI）について

Genomic Total Performance Index

- ・牛の耳片、血液等を採取し遺伝子の配列を解析して、生産性、繁殖性などの遺伝的能力を総合的に評価する手法。

【問い合わせ先】

- 乳牛改良事業について
農林水産部畜産振興課
畜産ブランド推進主幹 鈴木 徹
TEL 023-630-2471
 - 現地取材について
農業総合研究センター 畜産研究所
研究主幹（兼）飼養管理部長 石山 徹
TEL 0233-23-8818
- 〔報道監〕
農林水産部次長 齋藤 邦仁